

三井不動産レジデンシャル株式会社

パークタワー北浜

●大阪市中央区

住宅・設計・施工

事務所・複合施設

教育・スポーツ施設

商業施設・飲食店舗

医療・福祉施設

宿泊・温浴施設

産業

贈呈理由

「パークタワー北浜」にエコキュートを採用し、
大幅な省エネ・省CO₂を実現



パークタワー北浜

省エネルギー対策で
最高評価を取得

「パークタワー北浜」は、三井不動産レジデンシャル関西支店のフラッグシップタワープロジェクトとして開発された。同社としては大阪市中央区初のタワープロジェクトとなる地上41階建の超高層タワーレジデンスである。本物件は、大阪証券取引所や多くの上場企業が拠点を構える商業地域に位置し、中之島公園や大川が緑り広げる水と緑の美しい景観に囲まれている。

マンションの構造や仕様はエコに配慮し、住戸全窓には「Low-E 複層ガラス」を採用するなど、設計住宅性能評価の省エネルギー対策等級において、最高等級の「4」を取得している。節水・節電トイレなどの節水型機器とともに「エコキュート」を全戸に採用することで省エネ、CO₂の削減に貢献している。

さらに各邸の現在の消費電力や1日の電気使用量、CO₂の排出量などがチェックできる「ECO マネシステム」も全戸に導入し、予め設定した省エネ目標に対する達成状況や回路ごとの電気使用量

なども確認することができる。

先進の制振技術、
充実した防災対策

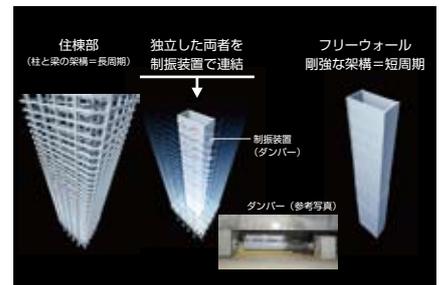
防災面では、大林組が開発した先進の超高層制振テクノロジー「デュアル・フレーム・システム (DFS)」を導入。同規模の一般的な制振構造の建築物と比べて約3倍の効果を発揮する。

各邸内では、住戸内壁面への家具転倒防止下地設置や玄関ドア枠に耐震枠を採用し、エコキュートからは、断水時にはタンク内の水（お湯）を取り出し、生活用水として利用することができる。また、共用部では、2階の防災備蓄倉庫のほか、隔階にもサポートポストを設置し、非常用救急備品や長期保存水など災害時に各家庭に必要と思われる備品を装備している。

さらに、三井不動産グループのマンション管理会社である「三井不動産住宅サービス関西」と連携し、震災マニュアルの作成と配布を行うとともに、防災訓練、防災備品の維持管理などに関して管理組合のサポートを実施する。



36階ビューラウンジ



DFS (連結制振デュアル・フレーム・システム) 概念図

パークタワー北浜

所在地:大阪市中央区北浜東37-2 (地番)
建物設計:株大林組
建物施工:株大林組
建築延面積:40,102.70㎡
竣工年:2014年9月(予定)

蓄熱設備概要

エコキュート 370ℓ×341台(パナソニック)
460ℓ×9台(パナソニック)